

## 2017年度 活動報告 No.1 (4月～6月)

### ◆ 定期総会と懇親会 : 4月15日(土) 10:15 ~ 14:00 in「びゅあ総合」

参加者は新会員1名を含む20名でした。前年度の総括に続き、議事案(活動計画案、予算案)を協議、全て承認されました。役員は任期2年のため、昨年より継続です。



### \* 「会員交流会」、「研修」、「多文化交流会」を充実させていきます!

日々の日本語学習支援を地道に続けながら、各活動の充実を目指します。

昨年度より「会員交流会」が始まりました。初の企画として納涼会(7月)と新年会(1月)を実施したところ好評だったため、今年度も引き続き行う予定です。

研修は会員が相互に高め合うのはもちろん、時には外部から講師を招くなど、実践に役立つ「研修会」を目指します。また、「多文化交流会」は年に一度の大切な行事です。会員や受講者、一般の方を巻き込んで日本文化に親しむ集いとなるよう、企画を進めています。

### \* その他の取り組みについて

「地区会」の見直しに伴い、受講申込者の情報はメールで一斉送信されるようになりました。事務局から、特に新人会員さんが積極的に手をあげてくださっているとの報告がありました。なお、受講者数(継続者、新規申込者)は、ほぼ昨年通りとなりました。

新田小学校の学習支援も継続しています。要請があれば、今後も外国籍児童の支援に関わっていきたいと考えています。また他団体との連携も進めていきます。



## \* 懇親会

初の試みとして、「落語ワークショップ」を開催しました。講師は墨亭河童こと川辺修作さんにお願いしました。

川辺さんは山梨に住んで35年、長く教員を勤められた後、現在はスクールカウンセラーをなさっています。落語との関わりは高校の落語研究会以来だそうです。現在は「山梨落語研究会」の旗揚げ以来のメンバーとして、様々な年齢の方を対象に落語を披露されています。また、「日本笑い学会」会員でもあるそうです。

河童さん、登場です！初めに、落語を演じる世界「高座」と小道具についてご紹介があり、続いて、「狸の恩返し」を一席。さらに、小噺のネタまで紹介していただきました。30分という短い時間でしたが、参加者一同、笑いに包まれ、心温まる時間を過ごしました。



その後、会場を会館内のレストランに移してランチ会です。新会員の紹介、会員の活動紹介や情報交換を行い、親睦を深めました。

(写真：小林、報告：稲谷)